

会関係を把握する立場には、生活構造に焦点を当てる立場と社会構造に焦点を当てる立場が考えられるが、ここでは前者に立つ。とすれば、個々人が自己の生活を豊かにする上で社会関係がどのように機能しているのかが焦点となるが、当然その内容

表2 親しい人の数合計(校区内)親しい人 r 宍塚 豊

3) 住居形態・居住経歴・居住年垂庸碇茶鱒

と ■ 合いが1.88人と極端に少ないことも指摘しておく(表10)

居住年数であると

表40 相関係数

	手助けした	聞き手			

